



(2024年3月15日発行) 毎月1回15日発行

かごしま労働者福祉だより

第760号 (1)

# かごしま 労働者福祉だより

第760号

[発行所]

(一社)鹿児島県労働者福祉協議会

〒890-0064

鹿児島市鴨池新町5-7-6F

☎099-254-3832

【発行人】

下町 和三

[印刷]

南日本新聞開発センター

【編集】

県労福協、連合鹿児島、九州労金

こくみん共済 coop<全労済>, 生協連

☆労福協だより

毎月15日に更新!!

鹿児島 労福協 検索

## 「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」 2024春季生活闘争・鹿児島市議選 勝利総決起集会を開催



あいさつする下町会長

賃上げ。ステージを変えよう！」をスローガンに昨年を上回る賃上げで傷んだ労働条件の回復を図り、生活向上につなげ、「賃金も物価も経済も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換を図る正念場」と捉えています。また、持続的な賃上げの流れを社会全体へ波及させていかなければいけません。冒頭のあいさつに立った下町会長は「価格転嫁や環境整備」などにふれ、海蔵事務局長から基調報告をいただきました。

続いて、民間組織を代表し

連合鹿児島は3月9日(土)10時から、みなと大通公園で参加者約800人のもと「2024春季生活闘争・鹿児島市議選勝利総決起集会」を開催しました。2024春闘

は、「みんなで

て運輸労連の藤田書記長、公務組織を代表して鹿児島県公務公共サービス労働組合協議会の水間事務局長と全水道鹿児島水道労働組合の末永さんから要求の報告や決意表明がありました。

その後、「2024春季生活闘争勝利アピール宣言」、「3・8国際女性デーのアピール宣言」を行い、4月7日告示、14日投票の鹿児島市議選を戦う10人の連合鹿児島推薦候補者全員から決意表明があり、最後に中小共闘センター岡委員長による「団結ガンバロー」で総決起集会を終了し、コロナ禍の中で実施出来ていなかったデモ行進を行い、持続的な賃上げの必要性を訴えました。

デモ終了後、女性委員会で「3.8国際女性デー」の行動としてマルヤガーデンズ前にて、バラとパンを女性委員会により配布しました。



集会の様子



～平和を願ってやまない～

2月24日、ロシアがウクライナ侵略を始めて丸2年が過ぎ、3年目に入った。この2年間で両国の軍人で50万人を超える死傷者、ウクライナでは民間人の犠牲者が1万人を超えたとの報道もある。また、昨年10月に始まったイスラエルによるパレスチナガザ地区への攻撃で3万五千人の民間人が亡くなったという▶この2つの戦闘に対して世界中の国々や市民から、「ロシアは国連憲章を守れ・ウクライナから

撤退せよ」「イスラエルに即時停戦」を求める声があがっている。にもかかわらずいまだにウクライナ・ガザは大変な戦火の中にある▶「平和」でないと私たちは安心して暮らすことは出来ないし、私たち労働者は安心して働くことはできない。日本政府には紛争解決に向けリーダーシップをとってほしいと強く思う。ウクライナやガザの人々に寄り添うこととして、地域で行われる平和を願う取り組みに関心を持ち、できる範囲で意思を示すことを続けたいと思う。

## いおワールド鹿児島水族館貸切ツアーを開催しました！ 加世田／枕崎地域合同推進委員会・青年女性推進委員会

2024年1月13日(土)、加世田／枕崎地域合同推進委員会と青年女性推進委員会は、合同で「いおワールド鹿児島水族館貸切ツアー」を開催しました。

組合員とその家族167名が参加のもと、カーライフローン・教育ローンダブルキャンペーンと今話題の新NISA・iDeCoの説明を行い、可処分所得向上のためのアンケートを実施しました。

その後、イルカの時間を楽しみ、バックヤード見学や「あつまれどうぶつの森コラボ：生きもの探し」を行いながら、夜の水族館を満喫しました。参加者からは、「NISA

をもっと詳しく知りたい」「家族サービスがてきて良かった」等、うれしい感想をいただき、充実したイベントとなりました。



## 肥薩おれんじ鉄道で行く日帰り旅行＆ろうきん学習会を開催しました！ 出水支店推進委員会・青年女性推進委員会

2024年1月20日(土)、出水支店推進委員会と青年女性推進委員会は、合同で「肥薩おれんじ鉄道で行く日帰り旅行＆ろうきん学習会」を開催しました。

イベントは、地元を走る肥薩おれんじ鉄道の列車を2両貸し切り、出水駅と日奈久温泉駅間を往復する3時間限定の日帰り旅行としました。

往路では「クイズ大会」を通して、ろうきんの成り立ち、新NISA制度、カーライフ・教育ローンについて学習しました。折り返しの日奈久温泉駅で記念撮影の後、復路は昼食とデザートをとりながら、職場の枠を超えた交流を図りました。

参加者からは「短い時間ではあったものの、列車から眺める地元の海や山を楽しみつつ、特に今話題の資産運用について理解を深めることができてよかったです」という感想をいただき、充実したイベントとなりました。



## グラウンドゴルフ大会を開催しました！ 徳之島支店推進委員会・青年女性推進委員会

2024年1月27日(土)、徳之島支店推進委員会と青年女性推進委員会は、奄美地域労働者福祉協議会と共に徳之島町総合運動公園にてグラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、家族を含め65名の方に参加いただき、イベントを通じて徳之島支店に集う仲間が交流・親睦を深めることができました。前日まで雨模様で天候が心配されましたが、参加者のパワーで雲を追い払い、子供から大人まで芝のグラウンドで気持ちよくプレーすることができました。

プレー後の集計をしている時間を活用し、ろうきんと労福協の社会的役割について漫談形式で説明を行い、その後、金融リテラシー向上セミナーとしてお金に関する学習会を開催しました。学習会では、今年から拡充された新NISA制度について説明したところ、みなさん興味を持って話を聞いていました。

学習会の後、参加者全員に順位毎の豪華賞品とお弁当、奄美地域労働者福祉協議会から協賛いただいた参加賞が配られ、大盛況のうちに終了しました。



## モルック大会を開催しました！ 鹿屋支店推進委員会・青年女性推進委員会



2024年2月3日(土)、鹿屋市の大隅青少年自然の家にて、鹿屋支店推進委員会・青年女性推進委員会合同イベント「モルック大会」を開催しました。

組合員とその家族59名が参加の

もと、12チームに分かれて競技を行いました。体育館の床に傷がつくことを避けるため、本来の木製仕様ではなく、ダンボール素材のセット使用となりましたが、軽く扱いやすいことで、子供から大人まで幅広い年代で楽しんでいただくことができました。大人は3回連続失投した場合、チーム得点が0に戻ってしまうというルール適用が、ゲームの盛り上がりにつながったようで、白熱した試合展開となりました。参加者からは、「楽しかった！来年もあればまた参加したい」という言葉もいただき、充実したイベントとなりました。

## 鹿児島県本部・ろうきん友の会連絡協議会合同講演会を開催しました！

2024年2月3日(土)、鹿児島県本部5階大ホールにて、「鹿児島県本部・ろうきん友の会連絡協議会合同講演会」を開催しました。

講演会には、県内各地から77名が参加のもと、株式会社山田エスクロー信託鹿児島支店の岩切支店長を講師に迎え、「人生



100年時代の相続対策」をテーマに講演していただきました。今回のテーマに参加者のみなさんは興味津々。質疑応答では、8名の方から質問が出される等、充実した講演会となりました。

## 『言いたい劇場』 小菅りや子



転出

## 2024年4月 人事異動のお知らせ



熊本推進本部  
共済ショップ熊本店へ異動  
**川口 昌寿**  
(ぐりんぼう鹿屋 店長)



本部  
共済開発部へ異動  
**小泉 まどか**  
(団体推進2係)

2017年9月に鹿児島推進本部へ配属となり、6年7ヵ月の間大変お世話になりました。

地域・職域・店舗運営と多岐に渡り経験をさせていただきました。ご指導・ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

鹿児島での経験を礎に、熊本推進本部で業務に励んでまいります。

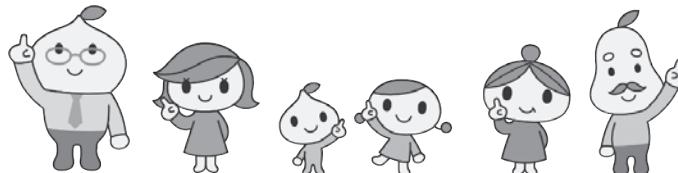
また、日進月歩で社会情勢が変化し当会の環境・業務も目まぐるしく変化する中、職員お一人おひとりが日々奔走されていることと存じます。皆様、お体をくれぐれもご自愛下さい。異動となりましたが、同一組織の一員として今後も共に頑張りましょう。

2019年4月に鹿児島推進本部へ配属となり、5年間大変お世話になりました。

窓口業務にて2年間、職域業務にて3年間携わさせていただき、鹿児島の人柄の温かさに日々助けられておりました。

大阪出身の私を温かく迎えてください、また、大切に育ててくださいありがとうございました。

鹿児島で得た知識と経験を活かし、さらに活躍できる職員となれるよう新しい部署でも邁進したいと思います。そしていつかまた、皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。5年間ありがとうございました。



## 報告 連合寄付講座 鹿児島大学で講義を行いました！

2024年1月19日(金)に2023年度連合寄付講座の一環として、鹿児島大学法文学部にて講義を行いました。

当日は約140名の学生へ向けて、鹿児島推進本部 団体推進課の小泉まどか職員より、「労働者のためのたすけあい事業」をテーマとして、組織の紹介や共済の内容について説明をしました。

特に、学生に関心の高い「くるまの補償」や「自転車損害賠償責任保険等」についてのクイズの場面では、熱心に講義に参加する学生も多く、リスクに備えることの重要性を認識いただきました。

また、就職活動中の経験や仕事でのやりがいなどを紹介し、これから社会人になる方へむけて「失敗を恐れず、様々なことに挑戦してほしい」というメッセージもお伝えしました。

参加者からは「自分自身を守るためにも保障を備えることが重要だと思った」「保障だけでなく、就活中に大切にしていたことや仕事でのやりがいなどを知ることができて有益だった」という感想をいただき、共済や保障だけでなく、「働くこと」についても学んでいただける機会となりました。

### 【講義内容】

1. こくみん共済 coop <全労済>とは
2. こくみん共済 coop が取り組んでいること
3. この組織に入会を決めた理由
4. 仕事でのやりがい
- 5.まとめ



お知らせ

## こくみん共済 coop の生活応援キャンペーン 実施中です！

[期間] 3月1日～3月31日

こくみん共済 coop では、2024年3月1日～3月31日まで「こくみん共済 coop の生活応援キャンペーン」を実施しています。

県内の各共済ショップでは、皆さまの保障に関するお悩みにお役立ちできるよう、気軽にご相談いただけるスタッフがお待ちしております。

キャンペーン期間中、共済ショップ窓口にご来店・ご加入いただいた方にはもれなくプレゼントをご用意しております。

「気軽に・何でも・何度も相談できる『親切で頼れる店舗』」を合言葉に、ぐりんぼう鹿児島店・鹿屋店・奄美店のスタッフ一同、皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



## ぐりんぼう奄美店のご紹介

お一人お一人に寄り添える丁寧な応対を心がけています。保障の見直しをした方は、その後も人生の節目節目で当ショップに立ち寄ってくださったり、電話でお問い合わせをいただいているりしています。

是非、お気軽にご来店ください。スタッフ一同、皆さまのご来店を心より、お待ちしています！

共済ショップ  
ぐりんぼう 奄美店

〒894-0027 奄美市名瀬末広町9-24  
松元ビル1F

〔営業時間〕 月～金 9:30～17:00

※土曜・日曜・祝日・年末年始は休み



▲ ぐりんぼう奄美店



▲ ぐりんぼう奄美店のスタッフ

## 「仙巖園と霧島神宮をめぐり、歴史を学ぶ」 九州労金川内支店推進委員会・北薩地域労福協



霧島神宮で記念撮影

仙巖園・霧島神宮探訪の日帰りバスツアーで、参加者は薩摩川内組と串木野組の2班に分かれてバスに乗車しました。最初に、万治元年(1658年)19代島津光久によって築かれた島津家の別邸である仙巖園に到着。鹿児島湾を池に桜島を築山に見立てた雄大な景観や、日本の近代化をリードした「明治日本の産業革命遺産」として2015年に世界文化遺産に登録された(旧集成館機械工場・旧集成館)や、反射炉跡などの説明を受けました。その後、園内を散策して、御殿の中で薩摩切子のかけらを使ったアクセサリー作りも体験しました。

仙巖園を後にして、「フォンタナの丘かもう」で昼食と休憩を取り、霧島神宮へ移動。移動中のバス車内では、ろうきんの商品説明や新NISAの内容を含む資産形成についてDVDを視聴して理解を深めました。

霧島神宮では参加者全員で記念撮影を行った後、それぞれ参拝やパワースポットを巡って帰路につきました。学習と歴史・文化に触れる楽しい1日となりました。

## 「ツボと健康」についての介護 教室開催

姶良伊佐地域労福協



ツボと健康について楽しく学びました

始良伊佐地域労福協は2月8日(木)、隼人教育会館で「介護教室」を開催し、38名が参加しました。講師に鍼灸師の泊平八郎氏を招き「ツボと健康」について学びました。泊さんからは、「ツボ」とは東洋医学の「気」の概念に基づくもので、気は体内に張り巡らされている「経路」を通って臓腑や筋肉、皮膚に働きかけます。経路には気の出入り口である「経穴」があり、これがいわゆる「ツボ」といわれます。また、ツボは経路に沿って全身に点在し全部で365ヶ所あり、ツボを刺激することで経路を流れる気を調整でき、経路とつながる臓腑が活性化されて体調が整います。また、ツボや経路を利用した治療として、針や灸でツボを刺激するお灸、指でツボを刺激する指圧があるとの説明がありました。

その後、実践を交えながら「手、足の指」のツボ、「風市」「郄門」など、いろいろなツボの位置や効果について学んだほか、冷え性は体によくないことや食べ物のことなどの話もあり、参加者からは、もっと詳しく聞きたいなどの質問も見られました。

馴じやれを交えながらの説明は「笑い」もあり和気あいあいとした雰囲気となり、第二回、第三回と「泊先生の教室」を開催してほしいとの声も聞かれました。

## 「第19回介護教室」の開催

鹿児島地域労福協

鹿児島地域労福協は1月27日(土)、鹿児島市国際交流センターで、第19回介護教室を開催し、講師助手の看護学校生徒4名を含む、合計24名が参加者しました。

当日は、看護師で「元救急救命センター・フライトナース」の永橋浩佑さんが『救急対応AEDの使用方法』についての説明と実技指導行いました。身近な人が心肺停止状態になった場合の救急対応について、分かりやすい説明と丁寧な実技指導もあり、とても充実した介護教室になりました。



丁寧な実技指導と参加者

## 第30回定期総会と結成記念式典、 講演会を開催

鹿児島県退職者団体連合

県退連は1月23日、九州労金県本部ホールで講演会と第30回定期総会、結成記念式典ならびに祝賀会を開き、代議員と役員ら70名が参加しました。

講演会は、福司山宣介県会議員が「鹿児島の地方自治の課題」の演題で講演し、新たな県総合体育館の整備やサッカースタジアム構想の経過、川内原発20年延長の対応、馬毛島の軍事基地化、女性が活躍する社会や子どもを取り巻く現状を踏まえた課題などを報告しました。今後、連合推薦の県議7名で結成した会派「県民連合」の仲間と力を合わせ、皆様方の意見反映に努めると決意を述べました。

定期総会は、来賓の人見一夫日本退職者連合会長、下町和三連合鹿児島会長、野間たけし衆院議員、川内ひろし前議員の挨拶をいただいた後、1年間の活動報告と決算、24年度の運動方針と予算を承認し、4月の鹿児島市議選や総選挙における必勝への取り組みを確認しました。また、能登地震への義援金を募り、63,000円を送りました。

記念式典では、役員10年以上の方々8名に功労者として感謝状と記念品を贈呈しました。祝賀会は、ベリーダンスの披露や抽選会で盛り上がり交流を深め合いました。



鹿児島市議選の必勝へ決意

2024年3月15日

今日は、どうでもいい愚痴の聞き流し方をお伝えします。親身に聞いて疲れる、あるいは適当に聞いて怒られるといったことはありませんか。

まずは顔と体を相手のほうに向けます。何かしながら聞くのではなく、うなずきながら聞きます。あなたが話すことには、前半はあいづちに限ります。うん、なるほど、そうか、えー、おお……。ときには相手の気持ちに関する質問をはさみます。「それからどうなった」「そのときどう

## セルフコンパッションでうまくいく!

臨床心理士 山藤奈穂子

思った」「どんな気持ちだった」。

重要なのは、「全力で聞かないこと」です。電話であれば、音量下げ受話器から耳を少し離します。頭の中では、何となくあなたの好きなもののことを考えてもかまいません。相手を変えようしたり助言したり解決してあげたりする必要はありません。そんなことをすると相手は「分かつてくれない」「聞いてくれない」と不満を持ち、もつと話が長くなります。

最後に相手の努力やいいところを褒めます。褒めるところがなかつたら「大変ななか、よくがんばっているんだね」「さすがだね」「努力してるんだね」とアバウトに褒めます。

相手と自分の間に境界線を引き、相手の悩みを自分の悩みにしないことが大切です。相手は自分の悩みを自分で解決する力を持っています。「壁打ち」の相手に徹しましょう。深刻な内容であれば、ぜひ臨床心理士に紹介してください。

### ④聞きたくない愚痴を聞き流す

**声から読む者**

(296)

災害続きの日本。いつどこで災害が起つてもおかしくない時代。共済の見直しや、身の周りの備えを考えておくべきだと思います。(鹿児島市)

辰年、暴雨に襲われてしまつたような新年の始まりになりました。改めて防災の備えを考え、就職が決まった甥っ子二

用食品パック!企画された方はとても素晴らしいですね。お正月から大変なことが起つて

## 声から読む者

(296)

## ニュースワード

### トイレトレーラー

タイヤが付いた災害時用の移動設置型トイレ。三つから四つの洋式の水洗トイレが配置され、けん引車で運搬します。給水・污水の両タシクを備えており、断水地域でもすぐに使用可能。屋根の太陽光パネルから電源を確保できるため、停電時、夜間でも安心して利用できます。

被災地はトイレ事情が悪く、被災者は食事や水分補給、排せつを我慢して体調を崩しがち。1月の能登半島地震発生後、各地の自治体が移動式トイレを被災地に送り、喜ばれています。

人へ、防災セットを贈りました。使わずに済むことを祈りながら。(鹿児島市)

ろうきんさんの入出金手数料無料や振込手数料が他社より格安なため、知り合いにも勧めてみましたが!何かと物価が高騰している中、少しでもありがたいです。(鹿児島市)

しまったので、人ごとではないと思い、私も防災グッズを集め始めました。震災は起こるのを防ぐことはできないので、各自で備えて被害を少しでも軽減することが大事ですね。(鹿屋市)



費用は1台約2400万円。高額なため、所有する自治体は全国で20程度とどまります。日本は災害大国。万一の事態への万全な備えが求められます。

